久里浜こころのケアチーム
9班
活動報告

吉村・北湯口・原田・山本(依)

院長と事務当直に見送られて･･･

活動状況

＜活動期間＞

平成23年4月25日（月）～4月30日（土）

＜活動場所＞

岩手県大船渡市　　大船渡町・末崎地区

＜メンバー＞

医師：吉村

看護師：山本（依）

心理士：北湯口

事務：原田

大船渡の状況

- 人口7万人（大船渡・陸前高田・住田地区）

↓

気仙地区

- 4月21日現在・・死者1636人

不明1026人→3/4が陸前高田

＊4月23日より仮設住宅入居者決定（大船渡）

今後のメンタルフォローの強化を！

＊4月30日で岡山県、久里浜チーム撤退

現在の大船渡町の現状

大船渡中学　仮設住宅

仮設住宅の内部

活動内容

7:30　宿泊地発。道中本日の予定やケースの打ち合わせ

9:00

～　大船渡地区の個別訪問、巡回訪問

11:30

11:45　　昼食

13:00

～　末崎地区の個別訪問・巡回訪問

16:00　合同庁舎着　訪問ケースについてミーティング

16:30　市役所着保健師に個別ケースの報告

17:00　市役所にて保健・医療チームと合同ミーティング

18:00　　終了・水沢へ

9班訪問者数

訪問数20件
面接者数15人（男性：2人　女性：13人）

	4/25	4/26	4/27	4/28	4/29	4/30	計
避難所訪問数		4	3	3	1	申し送り	11
個人宅訪問数		3	2	2	2		9
電話対応		1	1	1	0		3
面接者数		2	4	5	4		15
新規依頼		1	1	0	0		2

9班の活動を振り返って

- 個人へ関わる時間が1時間の方も多かった。
- 就労している方への対応→時間内は無理

電話相談

他県への依頼

情報共有
連携の強化
速やかな調整

- 面接場所の確保が重要（面接時間の確保）

＊自分の思いを話せる場所がない

＊避難所などでの生活の中で、過干渉気味と感じる人への配慮

健康に関するアンケート

現在の健康状態はいかがですか？

良い	68人
悪い	73人

リアスホール　保健師
4月23日集計

悪いと答えた方、症状はどれに当てはまりますか？（複数選択可）

①眠れない	37
②気分が沈む	25
③やる気がない	24
④いらいらする	31
⑤疲れやすい	42
⑥肩こり	21
⑦腰痛	31
⑧めまい	9
⑨動悸	8
⑩頭痛	10
⑪下痢	8
⑫便秘	27
⑬胃痛	12
⑭その他	14

子どもがうるさい
情緒不安定
片づけでのどが痛む
息苦しい
野菜不足
高血圧・不整脈

リアスホール　保健師
4月23日集計

- 現在、医療機関に通院していますか

  （避難所の診療所は含みません）

  - 通院している 73人（47%）
  - 通院していない 69人（44%）

- 通院をしていないと答えた方、その状況は次のどれに当てはまりますか？
  - 具合が悪いところがない 62人（90%）
- 持病があり通院していなければならないが、通院していない　5人（7%）

リアスホール　保健師

4月23日集計

今後の課題

- 急性期医療から継続的に潜在・顕在してきているメンタルフォローと教育啓蒙
  - *アルコールに関連した問題
  - *PTSD、うつなどからの自殺に関連した問題

- 集団から個人への関わりの充実
  - *自宅のある人のほうが、うつ傾向
  - *家族全体のフォロー

- 小児医療の充実・・・PTSD
- 小児の生活習慣の改善
- 認知症の方への関わり

  ＊仮設住宅入居後の心身のフォロー
- 公衆衛生の充実

  ＊口腔衛生

  ＊粉塵による呼吸器疾患の予防

  ＊リハビリの充実（寝たきりにさせない）

最後に

- 第1班から、約180例の対応をしてきました。

  最終的には、継続を要する5例を申し送り、派遣を終えてきたが、

  今後、長期にわたり復興に向けて不便な生活していく方が、ストレスや環境の変化で「こころのケア」が必要となってくる方が増えると考えます。

  また、当院に対して、今後も引き続き“アルコールの問題や孤独死”を出さないために、ぜひ協力してもらいたいという声をミーティングの際、何度か聞きました。

  長期的展望を視野に入れて活動していくことが、必要と感じて

  9班は任務を終了しました。

宮崎県へバトンタッチ…